



山都警察署・署協議会だより

山都警察署 TEL72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、
県警からのお知らせ等が掲載中です。

～みんなでつくろう安全・安心の街～

10月11日(金)から20日(日)までの10日間、『みんなでつくろう安心の街』をスローガンに「全国地域安全運動」が実施されます。

全国では、下校中の児童に対する刃物切りつけ事件や通学中の小学生の列に車両が突っ込み児童が死傷する事故など重大な事件・事故が発生しています。

これらの事件・事故は、いつ山都町で発生してもおかしくありません。

運動を通じて「山都町の安全・安心は山都住民で守る」という気概を醸成するとともに、子ども、女性、高齢者の方々が安心して生活できる「県内で一番安全・安心な町」を作りましょう。

期間中は、各関係団体やボランティア団体の方々には大変お世話になります。

ご協力よろしくお願いします。

知って
いますか!?

犯罪被害者等早期援助団体 「くまもと被害者支援センター」

犯罪等の被害者やその家族・遺族に対して、精神的なケアなどを行うとともに、社会全体の被害者支援意識高揚を図ることにより、被害者の被害の回復や軽減に資することを目的とする団体です。

くまもと被害者支援センターでは、犯罪被害者やその家族・遺族に対して、多様な支援を行います。相談・支援は無料で、対応にあたった職員には法律による守秘義務がありますので、安心して支援を受けることができます。

(所在地:熊本県庁横 電話096-386-0337)



交通事故発生

8月21日(水)午後3時ころ、管内で交通事故が発生しました。山都町では人身交通事故が多発しています。脇見運転やボンヤリ運転には十分注意しましょう。

犯罪・交通事故発生状況(山都町)

事件・事故	25年(1～8月末)
刑法犯	25件(27件)
人身交通事故	30件(21件)

※()内は昨年同時期の発生状況

<支援の内容>

電話・面接相談
(相談員)

法律相談
(弁護士)

心理相談
(臨床心理士)

自宅訪問

警察への付添い
(事情聴取等)

検察庁への付添い
(検事調べ等)

病院への付き添い

裁判所への付添い

被害者参加対応

代理傍聴

「ゆっぴー安心メール」・シルバー見守りネット会員登録をお願いします!

QRコードを読み取って御登録をお願いします。



<ゆっぴー安心メール>

子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、県内で発生した不審者の出没や子ども・女性に対する犯罪の前兆事案の発生情報などを、会員登録された方の携帯電話に配信します。(希望する警察署管内の情報を受信できます。)



<シルバー見守りネット>

保護が必要な高齢者等(障がい者や小学生以下の児童を含む)の行方不明手配や交通安全・犯罪被害防止等の情報を、携帯電話へメール配信します。(希望する警察署管内の情報を受信できます。)

※QRコードを読み取れない方は

〈ドメイン〉ansin.police.pref.kumamoto.jp を指定後、

【ゆっぴー安心メール】 k110@ansin.police.pref.kumamoto.jp

【シルバー見守りネット】 net110@ansin.police.pref.kumamoto.jp に空メール送信をお願いします。

認知症、正しく知ればつらくない

「認知症の人に優しい町づくり」を目指して、『おれんじは～と～認知症の人にやさしい町づくり隊～』が活動をしています。このグループは医療機関や介護保険サービス事業所、地域包括支援センターのメンバーで構成されています。今回、活動の一環として畑前田地区の方、中島東部地区の地区社協長・福祉委員・民生委員の方と座談会を開催しました。座談会では認知症の基礎知識を学び、地域の現状や自分達でできることはなどを話し合いました。「一人暮らしの人が認知症になったときはどうするか?」「病院受診をするタイミングはいつか?」など活発な意見が出ました。今後も各地域に出向き座談会を行なう予定です。

●畑前田地区



8月20日(火) 19:00～20:30
畑前田公民館にて 参加者 20名

●中島東部地区



8月23日(金) 19:30～21:00
水の田尾公民館にて 参加者 24名

皆で笑いあえる社会づくり

8月27日(火)、千寿苑で山都町認知症講演会があり、大谷み子さん(グループホームふあみりえ)による講演が開催されました。「まちでみんなで認知症の人をつつむ」と題し開催された講演会には多数の来場者に見舞われました。認知症はなぜ起こるのか、認知症の方の気持ちをちゃんとくみ取る事を私たちはしているかを実体験なども通して話された大谷さん。「何も出来ないとすぐに決めつけず、反対側から見てみると一生懸命何かをしようとして頑張っています。認知症の方たちと共感、協働し、共に笑い合えるような社会を作っていくことはこれからの街づくりにとっても大切なことです。」と話されました。また、若年性認知症である新田さんによる生の声のほか、認知症の徘徊対策として訓練をされる際に「徘徊役」として活動されている橋本さんが、実体験などを面白おかしく話されました。



講演をされた大谷み子さん



橋本さんが実体験を話されました